

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	ムザファラバード郡において、学校再建や学校運営体制改善を目指した研修を含む教育環境整備を実施し学校教育を強化する。
(2) 事業内容	建設開始にあたり、各コミュニティと建設業者を含めたミーティングを開催し、地域からの協力確約を書面にて確認した後に再建工事を実施した。入札で選定した建設業者により 7 校 (GGPS Malsi Payeen, GPS Balak Bana, GGPS Abial, GGPS Ghorī Sydan, GGPS Hatrori, GPS Muttai, GMS Muttai) が同時に建設を開始する予定であった。しかし送金時の換算レートにより予算調整の影響を受けた GGPS Ghorī Sydan 及び上記の事業変更で記述した GGPS Norbani, GGPS Mahajir, GGHS Mahajir については建設着工時期に差異が生じたが、7 校すべて事業期間内の完成を予定している。 建設の進捗と技術面での質、建設仕様の確認のため、本事業の技術部門担当者が日々現場を訪問し、モニタリングを実施している。モニタリング結果に関しては、毎週金曜日に東京本部まで報告書が提出され、東京本部にて確認している。 各学校の着工時期は以下の通り： <u>3 月着工</u>：GGPS Malsi Payeen, GPS Balak Bana, GGPS Abial (3 校) <u>5 月着工</u>：GGPS Norbani (1 校) <u>6 月着工</u>：GGPS Ghorī Sydan (1 校) <u>8 月着工</u>：GGPS Mahajir, GGHS Mahajir (2 校) 各校の進捗は以下の通り： <u>*GGPS Malsi Payeen：47% 完了</u> 校舎背面の擁壁（地滑りを防ぐため）設置作業を継続中。今後は補強コンクリートブロック塀の作業を予定している。 <u>* GPS Balak Bana：56% 完了</u> 外壁のしっくい塗り作業が完了し、内壁のしっくいを塗る作業は継続中。今後はしっくい塗り作業の完了を予定している。 <u>* GGPS Abial：45.9% 完了</u> 補強コンクリートブロック塀の作業は完了し、校舎前面の擁壁をコンクリートで補強する作業は継続中。今後はしっくい塗り作業を予定している。 <u>* GGPS Norbani：38% 完了</u> 校舎背面の擁壁のコンクリート補強作業を継続中。今後は補強コンクリートブロック塀の作業を予定している。 <u>* GGPS Ghorī Sydan：37% 完了</u> 円柱のコンクリート補強は完了し、補強コンクリートブロック塀のスチール固定と型枠作業が継続中。今後は補強コンクリートブロック塀の作業を予定している。 <u>* GGPS Mahajir, GGHS Mahajir：0%完了</u> 関係省庁、コミュニティ、建設業者とのミーティングが完了し、今後は整地作業を開始する予定。

	(イ) 教師及び保護者へ教育環境改善を目指した研修実施と生徒会の組織化 計画の段階では 8 月までに研修事業が行われる予定であったがラマダン、そして夏休みの影響で教師の研修は 8 月 16-18 日、保護者の研修は 8 月 12-13 日、生徒会の研修は 8 月 21 から 28 日に実施を延期した。なお、教師及び保護者の 2 回目の研修は 12 月中に実施予定である。 (ウ) ニュースレターによる地域の経験共有 ニュースレター” Naya Din” は 7 月に発行され、再建中の学校やパキスタン地震復興庁 (ERRA)、保護者会 (SMC)、ムザファラバード郡復興局などに計 50 部配布された。
(3) 達成された効果	期待される効果として、(ア) 教育環境の再整備と基礎教育へのアクセスの改善 (イ) 教師の能力向上と地域や生徒の参画による学校活動の質向上 (ウ) 地域社会における意識の向上と活性化の 3 点を掲げている。 (ア) に関しては、学校建設の途中であるため成果を図る段階に至ってはいない。1 月の完成にむけて進捗の遅れを取り戻すべく、作業効率をあげ工事を進める。 (イ) に関しては、教師及び保護者へ教育環境改善を目指した研修実施と生徒会の組織化をまだ実施しておらず、成果については完了報告にて報告する。 (ウ) に関しては、現地スタッフによる聞き取りの結果、学校建設プロジェクトについて詳細を記載し発行したニュースレターが配布地域や関係当局でも好評を得ており、今後も継続して発行を望む声が挙がるなど教育活動への関心の高まりを確認している。
(4) 今後の見通し	対象地変更に伴い、新規再建対象校となった GGPS Mahajir, GGHS Mahajir については、工事を 2 校同時進行で行い、午前午後 2 シフト制での工事実施、工事関係者や資材を事前確保し効率的な作業進行を図る。また各工程に期限を設け、本事業技術部門担当者が細かく進捗を管理し、事業期間内に竣工が達成される見通しである。